

起きてはならない最悪な事態（リスクシナリオ）

	大規模自然災害が発生したときでも、人命が最大限保護される	
1	1	地震による建物等の倒壊や火災による死傷者の発生
	2	地震等による土砂災害や堤防決壊等による死傷者の発生
	3	台風・豪雨等に伴う洪水による死傷者の発生及び広域かつ長期的な浸水
	4	台風・豪雨等に伴う大規模な土砂災害の発生による死傷者の発生
	5	情報伝達の不備や地域や施設での避難態勢の不備等に伴う避難行動の遅れによる多数の死傷者の発生
	大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動及び救援活動が迅速に行われる。また、それが極めて困難な場合でも最低限必要な対応ができる	
2	1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
	2	避難経路や救援ルート途絶等による、多数かつ長期にわたる孤立集落や孤立住民等の同時発生
	3	警察、常備消防、自衛隊等の被災地への進出困難による救助・救急活動力の絶対的不足
	4	消防団員の被災、道路の阻絶・浸水、ポンプ車の故障、防火水槽・消火栓の損壊等により、消防団の機能発揮が困難
	5	住民の多数被災、自主防災組織倉庫の被災等により、自主防災組織としての救援・消火活動が殆どできない事態の発生
	6	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
	7	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者(観光客を含む)への水・食料等の供給不足
	8	医療施設及び関係者等の絶対的不足・被災、支援ルート途絶による医療機能の麻痺
	9	被災地における疫病・感染症等の大規模発生
	10	避難所施設の被災や避難所運営体制構築の遅れにより、避難所運営が円滑にできない、安全が確保できない状況の発生市外避難者の増大や想定外の避難者発生に伴う避難所の施設の絶対量の不足
	11	医療施設が被災、医療スタッフ不足、患者数の急激な増大により、患者の応急救護活動の実施が困難
	12	市民病院が医師等の医療スタッフや医療器材・医薬品不足により、救護病院・災害拠点病院としての機能を発揮できない
	13	福祉避難所開設のための支援スタッフや救援物資提供の遅延により、民間社会福祉施設を活用した福祉避難所の開設ができない
	大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する	
3	1	防災拠点となる公共施設・車両・器材等の被災による行政機能の大幅低下(本庁舎、おおるり、消防署、車両・器材等)
	2	市職員の被災による行政機能の大幅低下
	3	市の出先機関の被災による行政機能の大幅低下
	4	警察等、国・県の出先機関の機能低下に伴う大規模な交通マヒの発生、信号機故障等による交通事故の大量発生
	5	行政・地域の防犯・治安機能の悪化による、盗難等の犯罪の大量発生

	大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する	
4	1	電力供給停止、同報無線設備、ネット回線の被災等による情報通信手段の機能発揮が困難
	2	テレビ・ラジオ報道、ネット配信の中断、電話不通等により、市民や関係機関に情報が伝達できない
	3	高齢者等の災害弱者の情報獲得手段が限られていることによる重要情報伝達の不備
	大規模自然災害が発生したときでも、救助・救急、消火、医療活動等の救援活動、住民の避難行動、広域応援部隊の行動及び救援物資等の輸送活動をより円滑に行うための態勢(物的・人的基盤)を早期に確保する	
5	1	幹線道路・橋りょうの被災により、緊急輸送ルートの確保が困難
	2	緊急輸送ルートの開設を担当する建設業者の被災による緊急輸送ルート確保の大幅な遅延
	3	物資集積所施設の被災、人員配置や器材の不足による救援物資の受入・集積・配分体制構築の遅延
	4	各地区での救援体制(地区対策本部体制等)構築未実施により、避難所から個々の被災者への救援物資配分等が確実に実施できない
	5	広域応援部隊の集結予定地区の被災による使用困難
	6	緊急ヘリポートの被災、避難者の集合、アクセス道路の阻絶、要員配置の不足による使用困難
	大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェーンを含む)を機能不全に陥らせない	
6	1	サプライチェーンの寸断等に伴う企業の生産力低下による経済活動の停滞
	2	社会活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止
	3	重要な産業施設の損壊、火災、爆発等
	4	基幹交通ネットワーク(陸上、航空)の機能停止
	5	食料、水等の安定供給の停滞
	6	事業再開に必要な人的資源、資金の不足
	大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に最低限必要な電気、ガス、上下水道、燃料等のライフライン及び通信、交通ネットワーク等のインフラを確保するとともに、これらを努めて早期に復旧させる	
7	1	電力供給ネットワーク(発電所、送電設備)や石油・LPガスサプライチェーンの機能停止
	2	上下水道・ごみ処理等のライフライン・生活インフラ関連施設・設備の被災による長期間の機能停止
	3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止
	4	地域交通ネットワークが分断する事態
	5	応急仮設住宅等の住宅支援対策の遅延による避難生活の長期化
	6	被災者へのきめ細やかな支援の不足による心身の健康被害の発生
	人命確保に致命的影響を及ぼす制御不能な二次災害を発生させない	
8	1	風評被害等による地域経済等の甚大な影響
	2	原子力発電所の事故による放射性物質の放出
	3	大規模火災による多数の死傷者の発生
	4	連続地震、土砂災害等の複合災害による多数の死傷者の発生
	5	感染症の大規模発生等による関連死の多数発生

	大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を努めて早い段階で整備する
9	1 大量に発生する災害廃棄物の処理や遺体措置の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	2 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	3 高速道路や鉄道等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	4 被災者の住居(仮設住宅・みなし仮設住宅・復興住宅)や職の確保ができず生活再建が大幅に遅れる事態
	5 道路啓開や住宅建設等に必要な技術系職員等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	6 住宅被害調査や被災証明発行業務が遅延し、生活再建が大幅に遅れる事態
10	防災、減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりが実現される
	1 企業・住民の流出等による地域活力の低下
	2 限界集落の発生等による地域防災力の低下
	3 農地、森林等の荒廃による災害リスクの助長
	4 放置された空き家や公共施設等の管理不足による災害リスクの助長
11	復旧・復興段階で、県、広域応援部隊及び近隣市町との連携の拠点として活動し、県全体の復旧・復興に寄与する
	1 緊急輸送ルートの確保が遅延し、防災拠点となる富士山静岡空港や広域応援部隊が集結する大井川緑地へのアクセス道路や活動拠点となる地域が自由に使用できない事態の発生
	2 広域応援部隊が使用する燃料等の調達が市の需要と競合し、円滑な救援行動に支障を来す事態の発生
	3 市外からの一時避難者の受け入れ態勢が確保できない事態の発生
	4 ボランティアの受け入れ態勢を十分に確保できない事態の発生